



JICA 草の根技術協力 ミャンマー技術委員会メンバー訪日

JIPにおいては平成24年6月よりJICA草の根技術協力事業（草の根協力支援型）「ミャンマー連邦共和国エーヤワディ・デルタ地域における雇用促進のための労働集約型道路整備（路面処理）に関する人的資源開発事業」に取り組んでおり、現在当事業の中核である技術基準策定を成功させるため両国に技術委員会を設置し作業をすすめております。今年1月にミャンマー首都ネーピドーにおいて第一回日緬合同技術委員会を開催いたしました。2013年5月11日～22日の日程でU Kyaw Shein氏ら3名のミャンマー技術委員会メンバーが来日。到着後JIP主催にてウェルカムパーティー（日本道路協会にて。関係者多数出席）の後土木研究所訪問（つくば市）、水防訓練（利根川下流）その他各地施工現場を視察し日本にての第二回合同技術委員会に参加いたしました。



ウェルカムパーティー



土木研究所にて舗装材料視察



水防訓練の様子



土嚢工法を実施訓練するミャンマー委員

2008年のサイクロン・ナルギスにより、エーヤワディ地域は甚大な被害を受けました。道路も未舗装で且つ災害に弱い盛土構造のため地域の道路は壊滅的な打撃を受けました。そのため河川のデルタ地帯という悪い地質条件の下で道路を建設するには日本の技術支援が不可欠です。今回訪日での水防訓練視察は今後のミャンマーにての水害に備えるためであります。



第二回日緬合同技術委員会



合同技術委員会メンバー

今後は実際の道路整備工事の試験施工（パイロット事業）を進めていく予定となっております。